

風景構成法の本邦における文献一覧（1970-2010年）

The List of Literatures Written in Japanese
for the Landscape Montage Technique from 1970 to 2010

佐渡忠洋¹⁾・中島郁子²⁾・別府 哲³⁾

Tadahiro SADO, Fumiko NAKAJIMA and Satoshi BEPPU

抄録

風景構成法とは、中井久夫が箱庭療法から着想を得て考案した構成的描画法である。わが国で報告された風景構成法に関する文献を、利用しやすい形の一覧表にまとめた。記載した文献は、GeNii学術コンテンツ・ポータブル（国立情報学研究所）のNII論文検索ナビゲータと、特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会の医中誌Webデータベースを用いて「風景構成法」のワードで検索し、該当した論文は可能な限り収集したものである。さらに、各論文の引用文献からも検索した後、抄録（会議録）と本技法とは無関係のものを除外した。ただし、心理臨床で用いられる「風景画」の研究は一覧に残した。その結果、354編の原著および著書、7冊の風景構成法専門書籍、6編の博士論文が認められた。

キーワード：風景構成法（LMT）・描画法・文献情報

I 目的

風景構成法（Landscape Montage Technique；LMT）は、1969年に中井久夫が考案した構成的描画法である（中井，1970）。LMT研究は描画法の中でも比較的、臨床研究や質的研究によって知見が集積されてきた傾向にある（詳しくは、皆藤（2009）の論稿を参照されたい）。これは中井や、LMTの普及に貢献した山中康裕（山中，1984）の業績であろう。これまでに数冊のLMT専門書籍が出版され、多くの学術論文が報告されているが、今後も臨床場面に貢献し得る研究が継続的に、そして発展的に行われることが期待される。

しかし、実際に研究を行うとなると、先行研究を参照する上で困難に出会う。昔よりもデータベースは整理されたとはいえ、それら情報が十分整理されているとは言い難いためである。そこで筆者らは、研究者ならびに臨床家に役立つよう、わが国で報告されたLMT文献をまとめ、一覧表にして報告することとした。

II 作成方法

2010年7月にGeNii学術コンテンツ・ポータブル（国立情報学研究所）のNII論文検索ナビゲータ（CiNii：<http://ci.nii.ac.jp/>）と、特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会の医中誌Web（<http://login.jamas.or.jp/>）のデータベースを用いて「風景構成法」のワードで検索し、該当した論文を可能な限り全て収集した。さらに、それらがLMTに関する記述があるかを吟味した。新規に論文が加えられることを考慮し、2010年12月までデータベースによる検索を続けつつ、該当論文や書籍の引用文献を精査して新たな文献が発見されなくなるまで収集した。その後、抄録や会議録を除外した結果、354編の論文が収集された。

文献は年代順に並べ、『心理臨床学研究執筆要項』に従って記載した。その際、各論文の著者名および題目名は論文冒頭の記述に忠実にしたかった。また、専門書籍（7冊）と博士論文（6編）は、論文とは分け、末尾に年代順に記した。

1) 岐阜大学保健管理センター / Health Administration center, Gifu University
2) 浜松大学大学院健康科学研究科 / Graduate School of Health Sciences, Hamamatsu University
3) 岐阜大学教育学部 / Factory of Education, Gifu University

Ⅲ 一覽

◀原著および著書▶

◆1970

中井久夫：精神分裂病者の精神療法における描画の使用 —とくに技法の開発によって作られた知見について。芸術療法, 2, 77-90. [中井久夫 (1984)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 1巻 一分裂病. 岩崎学術出版社. pp. 17-45. 所収.]

◆1971

市橋秀夫・吉田洋子・大堀カツ子・松元美千子・平間幹子・田中みち子：慢性分裂病者の存在様式と絵画表現。芸術療法, 3, 53-59.

中井久夫：描画をとおしてみた精神障害者とくに精神分裂病者における心理的空間の構造。芸術療法, 3, 37-51. [中井久夫 (1984)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 1巻 一分裂病. 岩崎学術出版社. pp. 47-82. 所収.]

中井久夫：精神分裂病者の言語と絵画 —精神病理学者の眼。ユリイカ, 3 (2), 87-95. [中井久夫 (1984)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 1巻 一分裂病. 岩崎学術出版社. pp. 1-15. 所収.]

◆1972

市橋秀夫：慢性分裂病者の体験構造と描画様式。芸術療法, 4, 27-35.

中井久夫：医者として箱庭療法をどのように治療にくみこんでいるか —講習会テキスト (一九七二年)。メンタルヘルスクリニック。[中井久夫 (1985)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 2巻 一治療. 岩崎学術出版社. pp. 204-225. 所収.]

中井久夫：精神分裂病の寛解過程における非言語的接近法の適応決定。芸術療法, 4, 13-24. [中井久夫 (1984)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 1巻 一分裂病. 岩崎学術出版社. pp. 83-114. 所収.]

◆1973

中井久夫：風景構成法 (箱庭講習会の一部として)。メンタルヘルスクリニック。[中井久夫 (1985)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 2巻 一治療. 岩崎学術出版社. pp. 226-231. 所収.]

◆1974

中井久夫：分裂病の発病過程とその転導。木村敏 (編)：分裂病の精神病理 3. 東京大学出版会. pp. 1-60. [中井久夫 (1984)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 1巻 一分裂病. 岩崎学術出版社. pp. 181-238. 所収.]

中井久夫：精神分裂病状態からの寛解過程 —描画を併用せる精神療法をとおしてみた縦断的観察。宮本忠雄 (編)：分裂病の精神病理 2. 東京大学出版会. pp. 157-217. [中井久夫 (1984)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 1巻 一分裂病. 岩崎学術出版社. pp. 115-180. 所収.]

中井久夫：枠づけ法覚え書。芸術療法, 5, 15-19. [中井久夫 (1985)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 2巻 一治療. 岩崎学術出版社. pp. 192-203. 所収.]

◆1976

中井久夫：“芸術療法”の有益性と要注意点。芸術療法, 7, 55-61. [中井久夫 (1985)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 2巻 一治療. 岩崎学術出版社. pp. 176-191. 所収.]

高江洲義英・高江洲田鶴子・吉田正子・国分京子・橋本ヒロ子：精神分裂病者の風景画と「間合い」。芸術療法, 7, 7-16

◆1977

中井久夫：情緒障害児の「絵画療法」をめぐる。教育と医学, 25 (1), 68-75. [中井久夫 (1985)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 3巻 一社会・文化. 岩崎学術出版社. pp. 21-32. 所収.]

高江洲義英・高江洲田鶴子・吉田正子・国分京子・橋本宏子：慢性分裂病者への絵画療法の場における「間合い」。芸術療法, 8, 7-15.

◆1979

中井久夫：造形療法ノートより。徳田良仁・武正健一 (編)：芸術療法講座 1. 星和書院. pp. 115-125. [中井久夫 (1985)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 2巻 一治療. 岩崎学術出版社. pp. 246-256. 所収.]

◆1980

中井久夫：心身症の一例。土居健郎教授還暦記念論文集刊行会 (編)：臨床精神医学論集. 星和書店. pp. 80-118.

- ◆1981
山中康裕：治療技法よりみた児童の精神療法について. 白橋宏一郎・小倉清 (編)：児童精神科臨床2 —治療関係の成立と展開. 星和書店. pp. 57-100.
- ◆1982
中井久夫：絵画療法の実際. 徳田良仁・式場聡 (編)：精神医療における芸術療法. 牧野出版. pp. 30-39. [中井久夫 (1985)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 2巻 —治療. 岩崎学術出版社. pp. 165-175. 所収.]
中里均：急性分裂病状態の寛解過程における風景構成法の縦断的考察. 芸術療法, 13, 7-15.
- ◆1983
石川嘉津子：境界例の風景構成法から. 芸術療法, 14, 43-49.
中井久夫：十余年後に再施行した風景構成法. 芸術療法, 14, 57-59. [中井久夫 (1991)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 4巻 —治療と治療関係. 岩崎学術出版社. pp. 231-236. 所収.]
中井久夫：絵画活動. 理学療法と作業療法, 17 (8), 503-508. [中井久夫 (1985)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 2巻 —治療. 岩崎学術出版社. pp. 257-270. 所収.]
- ◆1984
後藤桂珠：「風景構成法 (中井, 一九七〇年)」と「イメージ造形技法」を主とする心理療法過程への適用. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 189-223.
市橋秀夫：他技法との比較. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 139-161.
井上亮：風景構成法と家屋画二面法 —精神分裂病者の“棲まい”方からみた“風景”試論. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 163-187.
河合隼雄：風景構成法について. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 245-259.
- 向井巧：急性精神病状態からの寛解過程における里程標としての風景構成法と脳波所見. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 73-118.
- 中井久夫：付・精神分裂病寛解過程の縦断的・多次元的観察 —第二回インドネシア精神医学・神経学・神経外科学会招待講演 (一九八〇年十一月, ジャワ島バンドン市) を邦訳し多少訂正したもの. [中井久夫 (1984)：中井久夫著作集 精神医学の経験, 1巻—分裂病. 岩崎学術出版社. pp. 403-412. 所収.]
中井久夫：風景構成法と私. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集, 別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 261-271.
- 中里均：急性分裂病状態の寛解過程における風景構成法の縦断的考察. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 225-244.
高江洲義英・大森健一：風景と分裂病心性 —風景構成法の空間論的検討. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 119-137.
- 滝川一広：日常臨床の中の「風景構成法」. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 37-72.
- 山中康裕：「風景構成法」事始め. 山中康裕 (編)：中井久夫著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社. pp. 1-36. [山中康裕 (著)・岸本寛史 (編)：山中康裕著作集, 5巻 —たましいの形 (芸術・表現療法1). 岩崎学術出版社. pp. 107-138. 所収.]
山中康裕：意識の階層構造に関する臨床心理学的研究 —意識と無意識の反転を示すsignについての若干の考察. 河合隼雄 (研究代表)：昭和57-58年度文部省科学研究費補助金研究報告書 (一般研究A：5741003). pp. 57-64.
- ◆1985
衛藤進吉：急性分裂病者の回復過程における世界図式の変遷 —風景構成法による検討. 芸術

- 療法, 16, 7-13.
- 本多雅子: 臨床における描画法. 野上芳美 (編): 精神科MOOK, No. 10 —心理検査法. 金原出版株式会社. pp. 117-124.
- 市橋秀夫: 臨界期描画の意味するもの. 芸術療法, 16, 23-31.
- 加藤吉和: 登校拒否児童に実施した「風景構成法」について. 東京都児童相談センター 児童相談, 8, 22-30.
- 大場公孝・村上信行・今勝志・飯森真喜雄・三浦四郎衛: ネパールにおける風景構成法 —風景構成法の比較研究 (予報). 芸術療法, 16, 15-22.
- 山中康裕・安藤嘉朗: 心理テストからみた思春期症例. 野上芳美 (編): 精神科MOOK, No. 10 —心理検査法. 金原出版株式会社. pp. 183-195.
- ◆1986
- 安藤嘉朗・藤岡邦子・加藤治美: Gilles de la Tourette症候群の1例 —箱庭, 絵画を用いた治療経過について. 臨床精神医学, 15 (5), 677-687.
- 弘田洋二: 風景構成法の基礎的研究 —発達的な様相を中心に. 心理臨床学研究, 3 (2), 58-70.
- 中井久夫: 系統的な精神療法 (方法別にみた精神療法) —芸術療法. 吉松和哉 (編): 精神科MOOK, No. 15 —精神療法の実際. 金原出版株式会社. pp. 74-80.
- ◆1987
- 伊集院清一: 第9回芸術療法学会セミナー感想記 —イメージ・表象の意味あいと可能性. 芸術療法, 18, 101-104.
- ◆1988
- 弘田洋二・長屋正男: 「風景構成法」による神経症的登校拒否の研究. 心理臨床学研究, 5 (2), 43-58.
- 弘田洋二・小野浩子・森鼻雅代・武田宜子・岩堂美智子: 「風景構成法」に関する研究 —箱庭作品との関連. 大阪市立大学生生活科学部紀要, 36, 179-187.
- 伊集院清一: 風景構成法と表象機能. 兵庫精神医療, 9, 46-59.
- 伊集院清一・中井久夫: 風景構成法 —その未来と方向性. 臨床精神医学, 17 (6), 957-968.
- 皆藤章: 描画法. 山中康裕・山下一夫 (編): 子どもの心にアプローチする臨床心理テスト入門 (学校保健臨床医学双書⑤). 東山書房. pp. 213-243.
- 皆藤章: 風景構成法からみた心理療法過程 —事例を中心にして. 芸術療法, 19, 15-21. [皆藤章 (1994): 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 174-194. 加筆修正後に所収.]
- 皆藤章: 風景構成法の読みとりに関する一考察 —構成プロセスについて. 大阪市立大学文学部紀要 人文研究, 40 (7), 493-516. [皆藤章 (1994): 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 47-63. 加筆修正後に所収.]
- 皆藤章: 一枚の風景構成法から. 山中康裕・斎藤久美子 (編): 臨床的知の探求 —河合隼雄教授還暦記念論文集 (下). 創元社. pp. 217-232.
- 草野亮: 内観による描画の変化 —構成放棄の症例から. 芸術療法, 19, 23-29.
- 中井久夫・本多雅子: 臨床の場における心理アセスメント. 臨床精神医学, 17 (1), 5-10. [山口直彦 (編): 中井久夫著作集, 別巻2 —中井久夫共著論文集 精神医学の臨床. 岩崎学術出版社. pp. 311-322. 所収.]
- 大石勝代: 風景構成法について (1) —P-Fスタディとの関連. お茶の水女子大学人間発達研究会 人間発達研究, 13, 13-22.
- 高石恭子: 風景構成法から見た前青年期の心理的特徴について. 京都大学教育学部心理教育相談室紀要 臨床心理事例研究, 15, 242-248.
- ◆1989
- 原節子・荒井康晴・村上正人・中村延江・村上卓郎・岩本幹世・村山ヤスヨ・佐野茂男・大森啓吉・児島克美・桂戴作: 治療過程が風景構成法に示された過敏性腸症候群の1症例. 心身医学, 29 (6), 559-562.
- 伊集院清一: 拡大風景構成法における天象・地象表現と精神的視野. 芸術療法, 20, 29-46.
- 大場公孝: 慢性分裂病者の風景構成法における表現精神病理学的研究 —日本の児童・青年およびネパールの児童との比較による. 東京医

- 科大学雑誌, 47 (5), 736-745.
- 高江洲義英: 芸術療法. 土居健郎・笠原嘉・宮本忠雄・木村敏 (編): 異常心理学講座 9 —治療学. みすず書房. pp. 229-256.
- ◆1990
- 弘田洋二・三船直子・原志津・岩堂美智子: 「風景構成法」に関する研究 (その2) —ロールシャッハテストとの関連. 大阪市立大学生活科学部紀要, 38, 181-189.
- 石井雄吉: 精神障害者の描画特徴に見られる予後指標の検討. 神奈川県精神医学会誌, 40, 59-64.
- 皆藤章: 風景構成法の基礎的研究 —アイテムの提示順序について. 大阪市立大学文学部教育学教室紀要. 教育学論集, 16, 1-12. [皆藤章 (1994): 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 270-282. 加筆修正後に所収.]
- 皆藤章: 幻聴とのたたかい. 河合隼雄 (編): 事例に学ぶ心理療法. 日本評論社. pp. 253-269. [皆藤章 (1994): 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 174-194. 加筆修正後に所収.]
- 中井久夫: 構成と投影とそれ以外のもの. 臨床描画研究Annex, 2, 38-51.
- 中村延江・鴨下一郎・桂戴作: 自己表現をうながす心理療法 —登校拒否を伴った軽症気管支喘息への風景構成法. 呼吸器心身症研究会誌, 6 (2), 181-183.
- ◆1991
- 橋本泰子・市川康夫: 感応精神病の母娘の関係について —心理検査による検討. 神奈川県精神医学会誌, 41, 45-53.
- 細見史雄・片桐松子・原節子・桂戴作: 憑依・不登校などの症状を呈し催眠療法により治癒した症例 —風景構成法・心理テストの経過について. 思春期学, 9 (2), 195-203.
- 伊集院清一: 表現病理学からみた分裂病者の「生きられる空間」—E・ミンコフスキー再考へのプロローグとして. Imago, 2 (6), 185-191.
- 伊集院清一: 絵画療法における構成的空間表象の病理 —分裂病者の心理的空間についての省察. Imago, 2 (3), 167-177.
- 伊集院清一: 構成的空間表象の病理/構成的描画法の治療的意義 —分裂病者を中心として. 日本芸術療法学会誌, 22 (1), 5-14.
- 伊集院清一: 「枠組」のなかの憧憬 —精神世界と視覚文化. Imago, 2 (10), 121-127.
- 皆藤章: 風景構成法表現の分析 —健常者と病者の比較検討. 大阪市立大学文学部教育学教室紀要 教育学論集, 17, 26-46.
- 皆藤章: 風景構成法における風景の中の自己位置. 心理臨床学研究, 8 (3), 66-74. [皆藤章 (1994): 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 64-79. 加筆修正後に所収.]
- 皆藤章: 風景構成法における誘目性. 大阪市立大学文学部紀要 人文研究, 43 (1), 25-51. [皆藤章 (1994): 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 80-104. 加筆修正後に所収.]
- 中島登代子: スポーツと心理療法. 体育の科学, 41 (8), 609-613.
- 岡部俊一: アトピー性皮膚炎. 心身医療, 3 (10), 1395-1400.
- 佐藤文子: 精神科デイ・ケアにおける「集団風景構成法」と「合同風景構成法」の試み. Artes liberales, 48, 187-205.
- 山中康裕: 芸術療法における箱庭療法と風景構成法の関連. Imago, 2 (3), 76-83. [山中康裕 (著)・岸本寛史 (編): 山中康裕著作集 5 巻 —たましいの形 (芸術・表現療法 1). 岩崎学術出版社. pp. 153-162. 所収.]
- 安田智永子・坂本年将: 障害受容の把握法としての風景構成法の適用 —頸髄損傷の1症例. 作業療法ジャーナル, 25 (10), 765-770.
- ◆1992
- 波多腰正隆・山上栄子・中井久夫: 貼り絵による風景構成法についての研究 —非行少年, 慢性分裂病者, 健常青少年を比較して. 日本芸術療法学会誌, 23 (1), 24-33.
- 原節子: 風景構成法 (Landscape Montage Technique: LMT). 心身医療, 4 (7), 745-751.
- 伊集院清一: メリヨンと一九世紀パリ —気谷誠「風景画の病跡学: メリヨンとパリの銅版画」を読む. Imago, 3 (12), 15-17.

- 伊集院清一：妄想と表現病理. 関根義夫 (編)：精神医学レビュー 5—妄想. ライフサイエンス社. pp. 64-69.
- 皆藤章：風景構成法. 氏原寛・小川捷之・東山紘久・村瀬孝雄・山中康裕 (編)：心理臨床大事典. 創元社. pp. 558-563. [皆藤章 (1994)：風景構成法—その基礎と実践. 誠信書房. pp. 3-18. 加筆修正後に所収]
- 松井律子：風景構成法の読み方. 精神科治療学, 7 (3), 229-236. [山中康裕 (編著)：風景構成法その後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 27-42. 所収]
- 中井久夫：風景構成法. 精神科治療学, 7 (3), 237-248. [山中康裕 (編著)：風景構成法その後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 3-26. 所収]
- 中村泰子・水谷友吏子・岩堂美智子：投映法にみる「育児期女性」の特徴—箱庭作品と風景構成法の描画を通して. 大阪市立大学生生活科学部紀要, 40, 119-126.
- 谷口卓司・宮崎隆吉・山口直彦・安克昌・中井久夫：情景的な幻覚体験を持った女子慢性分裂病の一症例. 精神科治療学, 7 (8), 925-931.
- 山中康裕：風景構成法・枠づけ法・スクリブル・スクイッグル・MSSM法. 安香宏・大塚義孝・村瀬孝雄 (編)：臨床心理学体系, 第6巻—人格の理解 2. 金子書房. pp. 158-173. [山中康弘 (1999)：心理臨床と表現療法. 金剛出版. pp. 31-47. 所収]
- 米澤美里・北岡圭子・神野雅代・岩堂美智子：幼児を持つ母親の養育態度と「風景構成法」にみられる描画特徴との関連. 大阪市立大学生生活科学部紀要, 40, 113-118.
- ◆1993
- 藤田裕司：へび象徴技法に関する臨床的研究 (2)—他技法との比較. 大阪教育大学紀要 (第IV部門, 教育科学), 42 (1), 137-146.
- 井原彩：風景構成法と箱庭における空間の表現の特徴について. 箱庭療法学研究, 6 (2), 38-49.
- 伊集院清一：表象とは何か—絵画療法の立場から. 日本芸術療法学会誌, 24 (1), 201-203.
- 河合逸雄・名取琢自・瀬津幸重・麻田弓子・平畑二実子・出口紀子・藤田裕子・神谷栄治・前田昌美：入院・在宅患者 (D型) の心理特性の比較—風景構成法を通して. 飯田光男 (班長)：平成4年度厚生省神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの療養と看護に関する総合的研究 研究成果報告書. pp. 334-338.
- 待鳥浩司：箱庭療法に風景構成法を併用した喘息女兒の一例. 箱庭療法学研究, 6 (1), 15-26.
- 中井久夫：風景構成法. 加藤正明 (編者代表)：新版 精神医学事典. 弘文堂. p. 694.
- 水谷友吏子・中村泰子・岩堂美智子：箱庭作品と風景構成法の描画の比較—2種類の投影法的技法を用いることの意味. 大阪市立大学生生活科学部紀要, 41, 105-111.
- 澤田和重・内田裕之・宮下久子：風景構成法における「人物像」類型化の試み—表現の豊かさや運動性の視点から. 岐阜県立下呂温泉病院・温泉医学研究所年報, 20, 19-22.
- 高石恭子：自立の過程で離人症状を呈した女子大学生の事例—雪かきから雪どけの日に至るまで. 甲南大学学生相談室紀要, 1, 23-35.
- 山上栄子：分裂病者における投影法についての一考察—風景構成法, ロールシャッハ, ハンドテストの有効性と限界. 日本芸術療法学会誌, 24 (1), 30-39.
- 横山博：分裂病型人格障害の少女へのイメージを通じた精神療法過程についての一考察. 精神療法, 19 (3), 253-262.
- ◆1994
- 赤間立枝・有賀千晴・関直彦：摂食障害の心理診断と治療—Bulimiaの心理診断所見と再養育法の実践. 心身医学, 34 (2), 161-168.
- 原節子：風景構成法. 小児内科, 26 (6), 1045-1050.
- 伊集院清一：風景画の臨床表現病理. 臨床精神医学, 23 (10), 1183-1193.
- 石田弓：火のある風景描画法 (Fire in Landscape Technique) にみられる「破壊的な火」の意味するものについての一考察. 広島大学教育学部紀要 (第一部, 心理学), 43, 199-205.
- 皆藤章：風景構成法の理論的背景. 風景構成法—

- その基礎と実践. 誠信書房. pp. 19-43.
- 皆藤章：風景構成法の再検査信頼性. 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 244-269.
- 皆藤章：風景構成法と他技法との比較. 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 209-243.
- 皆藤章：事例研究の中の風景構成法 —読みとりの解説を中心に. 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 195-205.
- 皆藤章：心の成長と描画の変容 —死と親和性のある少年. 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 140-173.
- 皆藤章：心理臨床のなかの風景構成法 —ある女性の入院から結婚まで. 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 105-139.
- 皆藤章：数量的研究のための読みとり指標. 風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房. pp. 283-302.
- 多田昌代：描画発達と風景構成法の構成段階. 山中康裕・岡田康伸 (編)：身体像とこころの癒し. 岩崎学術出版社. pp. 173-181.
- 高石恭子：風景構成法における大学生の構成型分布と各アイテムの分析. 甲南大学学生相談室紀要, 2, 38-47.
- 徳田良仁：芸術療法における各種療法の治療的トポス (Topos) とその背景の力動について. 日本芸術療法学会誌, 25 (1), 103-112.
- 桜井育子：家出願望をもった女子中学生の面接 —風景構成法による新たな出発. 日本女子大学社会福祉, 35, 194-208.
- 内海健・伊集院清一：拡大風景構成法の早期適用の試み —空の描画に現れた緊張病者の回復過程. 日本芸術療法学会誌, 25 (1), 40-50.
- ◆1995
- 櫃田紋子・伊志嶺美津子・千葉智子・河西恵子：風景構成法における臨床的基礎研究 —分裂病者における「花」の描画像の検討. 湘南短期大学紀要, 6, 207-219.
- 伊集院清一：ある留学生の風景構成法の変遷. 全国大学メンタルヘルス研究会報告書, 17, 42-44.
- 伊集院清一：絵画療法から芸術医学へ. 日本精神衛生学会誌 こころの健康, 10 (1), 79-85.
- 石井雄吉・鎌田葉子・菊島勝也：風景構成法に表出された性役割観の調査の試み. 神奈川臨床心理学研究, 19, 4-12.
- 岩本正男・澁澤敏雄・吉川昌範・河井猛・野村亜紀：風景構成法を通しての非行少年の理解 —少年事件調査実務への「風景構成法」導入の試み. 最高裁判所家庭裁判所調査官研修所 調研紀要, 64, 72-97.
- 河西恵子・伊志嶺美津子・千葉智子・櫃田紋子：風景構成法における臨床的基礎研究 —青年期女子と精神分裂病者の人物像に関しての一考察. 横浜女子短期大学研究紀要, 10, 31-42.
- 川口智：養護施設入所思春期児童の心像風景 —風景構成法からみた一考察. 兵庫県児童相談所研究紀要, 創刊号, 21-29.
- 木南千枝：へび象徴技法に関する基礎的研究 —風景構成法との比較. 大阪教育大学障害児教育研究紀要, 18, 29-44.
- 松井律子・高宮静男・高橋亜由美・宋建華・中井久夫：分裂病者と児童の描画の差異について —風景構成法を通して. 日本芸術療法学会誌, 26 (1), 19-23.
- 中野明德：人格障害の表現 —風景構成法が映し出すイメージの世界. 福島章・町沢静夫・大野裕 (編)：人格障害. 金剛出版. pp. 424-442.
- ◆1996
- 後藤智子：風景構成法における「ストーリー性」の問題. 山中康裕 (編著)：風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 287-312.
- 井原彩：箱庭との空間比較. 山中康裕 (編著)：風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 313-330.
- 伊集院清一：拡大風景構成法 —表象機能と分裂病の表現病理, 雲の描画法, 空・星空の風景, そして地上への回帰. 山中康裕 (編著)：風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 111-143.
- 石田弓：火のある風景描画法に関する基礎的研究 —健全者と分裂病者の描画内容と描画形式. 臨床描画研究, X I, 214-237.
- 皆藤章：風景構成法の実践のための覚書. 臨床

- 描画研究, X I, 44-59.
- 皆藤章: 心理療法と風景構成法. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 45-64.
- 桑山紀彦: 移民と風景構成法. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 219-236.
- 待鳥浩司: 小児科, 精神科と風景構成法. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 167-182.
- 宮木ゆり子: 症例の検討. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 89-110.
- 中込四郎: スポーツクリニック・メンタル部門における活動報告 (2) —腰痛を訴え続けた長距離ランナーの事例. 筑波大学体育科学系紀要, 19, 173-183. [中込四郎 (2004): アスリートの心理臨床. 道和書院. pp. 172-189. 加筆修正後に所収.]
- 中島登代子: 競技者と風景構成法 —絵に表現された「無意識」と「身体」. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 183-218.
- 佐藤文子: 「集団風景構成法」と「合同風景構成法」の試み. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 144-166.
- 関一誠・天野博江・宮崎正己・蘭和真・大胡田茂夫・千葉陽子・鈴木壮・長谷詔子・木内広史・佐藤健・江川賢一・渡辺英次・竹ノ内隆志・黒河内恵子: バドミントン全日本代表女子選手の心理的特徴 —バーンアウト傾向, ストレッサー, ソーシャルサポート, 風景画からみた特徴. 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告, 1996 (2), 127-134.
- 多田昌代: 風景構成法における個性と構成 —構成段階の細分類の試み. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 265-286.
- 多田昌代: 自我発達から見た風景構成法の分析. 京都大学教育学部紀要, 42, 154-165.
- 高江洲義英・守屋英子: 風景と分裂病心性再考 —風景画のもつ癒しの力. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 65-85.
- 高石恭子: 風景構成法における構成型の検討 —自我発達との関連から. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 239-264.
- 山中康裕: 風景構成法に関する二, 三の興味ある知見. 山中康裕 (編著): 風景構成法とその後の発展. 岩崎学術出版社. pp. 333-346.
- [山中康裕 (著)・岸本寛史 (編): 山中康裕著作集 5 巻—たましいの形 (芸術・表現療法 1). 岩崎学術出版社. pp. 139-152, 所収]
- ◆1997
- 檀田紋子・伊志嶺美津子・河西恵子・千葉智子: 風景構成法における臨床的基礎研究 —分裂病者における「家」の描画像の検討. 湘南短期大学紀要, 8, 167-181.
- 石田弓: 気分障害者の火のある風景描画法 Fire in Landscape Technique に関する一考察. 徳島大学総合科学部人間科学研究, 5, 1-13.
- 角野善宏: 風景構成法を通しての急性精神分裂病の治療過程における一考察 —枠構造の治療的意義も含めて. 心理臨床学研究, 15 (4), 416-427.
- 中島登代子: 競技者の抱く不安. 体育の科学, 47 (3), 170-174.
- 佐藤文子・中村美津子: 精神分裂病者に対する「集団風景構成法」と「合同風景構成法」の治療的意味の検討. Artes liberales, 61, 89-101.
- 識名節子: 最近の診断・検査方法. 小児科臨床, 50 (4), 865-874.
- ◆1998
- 橋本泰子: うつ病の乱数生成法, Bender-Gestalt Test, 風景構成法による一考察. 城西大学女子短期大学部紀要, 15 (1), 47-64.
- 檀田紋子: 風景構成法とSCTの関連に関する一考察. 湘南短期大学紀要, 9, 323-334.
- 伊集院清一: 治療としての絵画療法. 星野弘・滝川一廣・五味淵隆志・中里均・伊集院清一・鈴木瑞実・鈴木茂: 治療のテルモピュライ —中井久夫の仕事を考え直す. 星和書院. pp. 131-158.

- 角野善宏：風景構成法による治療。分裂病の心理療法—治療者の内なる体験の軌跡。日本評論社。pp. 109-126.
- 皆藤章：風景構成法。岡堂哲雄（編）：現代のエスプリ別冊—臨床心理学シリーズⅡ，心理査定プラクティス。至文堂。pp. 126-139.
- 河西恵子・伊志嶺美津子・千葉智子・櫃田紋子：風景構成法における臨床的基礎研究—青年期女子と精神分裂病者の「石」に関しての一考察。横浜女子短期大学研究紀要，13，1-16.
- 宮木ゆり子：内的世界からのメッセージについて—風景構成法を通して。心理臨床学研究，16（5），429-440.
- 中込四郎：相談事例を手がかりに「バーンアウト」を考える。筑波大学スポーツクリニック・メンタル部門報告書。pp. 134-142. [中込四郎（2004）：アスリートの心理臨床。道和尚書院。pp. 153-171. 加筆修正後に所収.]
- 山上栄子・西田美穂子：阪神・淡路大震災を契機に入院に至った精神科患者への投影法による接近—風景構成法に表現された混乱と回復。精神科治療学，13（12），1455-1462.
- 渡部加奈子・相馬壽明：風景構成法の基礎的研究—「構成」の視点から。茨城大学教育学部紀要（教育科学），47，141-151.
- ◆1999
- 石井雄吉・杉山晴子・岩崎麻美・臼井美保子・緒方亜津子：風景構成法の数量化の試み—精神科リハビリテーションの目安として。神奈川県精神医学会誌，49，59-64.
- 伊志嶺美津子・河西恵子・櫃田紋子・千葉智子：風景構成法における臨床的基礎研究 そのⅤ—「山」の描画像の検討。横浜女子短期大学研究紀要，14，41-55.
- 角野善宏：精神療法の過程と心理検査—風景構成法。精神療法，25（1），16-23.
- 河合隼雄：心理検査と心理療法。精神療法，25（1），3-7.
- 中込四郎：競技離脱が「自立」の課題への取り組みとなっていったスポーツ選手の事例。臨床心理身体運動学研究，1（1），37-48. [中込四郎（2004）：アスリートの心理臨床。道和尚書院。pp. 190-210. 加筆修正後に所収.]
- 鈴木壯：競技者の面接事例から—風景構成法を中心に。ヘルメス心理療法研究，5，56-67.
- 鈴木壯：「やる気がなくなった」と訴えて来談した競技者との面接。臨床心理身体運動学研究，1（1），3-11.
- 高戸宣人・斎藤信太郎：ロールシャッハ・テストと風景構成法による精神分裂病の病態の検討。山梨県立中央病院年報，26，24-28.
- 寺沢英理子・伊集院清一：摂食障害例に対する絵画療法としての「再構成法」の試み。心理臨床学研究，17（1），67-79.
- ◆2000
- 阿部恵子・山下一夫：風景構成法による児童理解とティームティーチングによる児童支援の実際。鳴門生徒指導研究，10，4-17.
- 細川佳博・中込四郎：部活動での不適応を訴えた事例の風景構成法の検討。臨床心理身体運動学研究，2（1），41-52.
- 伊集院清一：描画法を用いた臨床についての展望。福西勇夫・菊池道子（編）：現代のエスプリ390—心の病の治療と描画法。至文堂。pp. 35-46.
- 石田弓：火のある風景描画法を「読む」ためのヒント（Ⅰ）—火のもつ象徴的意味について。徳島大学総合科学部人間科学研究，8，35-54.
- 石田弓：火のある風景描画法を「読む」ためのヒント（Ⅱ）—FLTにおける「太陽」と「火と水の関連」が象徴するものについて。徳島大学総合科学部人間科学研究，8，55-74.
- 河西恵子・千葉智子・伊志嶺美津子・櫃田紋子：風景構成法における臨床的基礎研究—青年期女子と精神分裂病者の「川」に関する一考察。横浜女子短期大学研究紀要，15，25-40.
- 溝口るり子：風景構成法について。福西勇夫・菊池道子（編）：現代のエスプリ390—心の病の治療と描画法。至文堂。pp. 121-131.
- 長坂正文：スクリブルから箱庭まで六つの接点を紹介—スクリブル，MSSM，風景構成法，コラージュ，絵本，箱庭の六つの接点を紹介します。月刊学校教育相談，14（4），6-10.
- 中込四郎：スポーツ科学の成果と競技力向上Ⅲ—臨床スポーツ心理学から。日本体育学会第50回記念大会特別委員会（編）：21世紀と体育・

- スポーツ科学の発展 —日本体育学会第50回記念大会誌, 杏林書院, pp. 212-218. [中込四郎 (2004) : アスリートの心理臨床. 道和書院, pp. 41-62. 加筆修正後に所収.]
- 中込四郎: スポーツ障害と心理的問題 —心理相談から. 臨床スポーツ医学, 17 (3), 321-326.
- 大井修太・鈴木壯: 運動選手の風景構成法の描画特性とMPI・競技種目との関連. 岐阜大学教育学部研究報告 (自然科学), 24 (2), 79-84.
- 鈴木壯: トライアスロン・ナショナルチームに対するサポート活動. 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告, 2000 (3), 16-17.
- 吉武光世: 風景構成法にみる学生の「こころ」—学生相談における風景構成法の活用について. 学生相談研究, 21 (2), 131-141.
- ◆2001
- 安島智子: 風景構成法の解釈 —宮木さんのケースを読む②. 臨床心理学, 1 (5), 647-652.
- 熱田一信: Psychopsy覚書 —ある行路人の心理検査資料からの眺望. 九州看護福祉大学紀要, 3 (1), 3-11.
- 伊集院清一: 非機能性・器質性精神病の表現病理とその絵画療法による治療可能性について —「痴呆性」疾患を視野に入れて. 臨床精神医学, 30 (増刊), 52-59.
- 石田弓: 火のある風景描画法に関する基礎的研究 (II) —描き手の状態変化と描画特徴の変化の関連について. 臨床描画研究, 16, 172-189.
- 角野善宏: 風景構成法から見た急性精神病状態からの回復過程の特徴 —4事例からの考察. 臨床心理学, 1 (1), 76-91.
- 角野善宏: 風景構成法の解釈 —宮木さんのケースを読む①. 臨床心理学, 1 (5), 642-646.
- 角野善宏: 風景構成法の可能性 —精神病状態からの回復過程. たましい臨床学 —夢・描画・体験. 岩波書店, pp. 119-149.
- 皆藤章: 風景構成法. 臨床精神医学, 30 (増刊), 180-184.
- 笠井さつき・津川律子・張賢徳: 解離性障害を疑われた3事例のロールシャッハ・テスト特徴 —初期診断における解離状態の把握の試み. 精神科治療学, 16 (5), 471-484.
- 松下姫歌: 風景構成法の構成のあり方を通して見た離人感の心的意味. 箱庭療法学研究, 14 (2), 63-74.
- 宮木ゆり子: 風景構成法 —心象風景を読む. 山中康裕 (編著): 知の教科書 ユング. 講談社, pp. 158-161.
- 宮木ゆり子: 風景構成法の解釈. 臨床心理学, 1 (5), 633.
- 宮木ゆり子: 風景構成法の解釈 —風景構成法から見た思春期危機の事例. 臨床心理学, 1 (5), 634-641.
- 中野明徳: 芸術療法導入時のアセスメント —絵画療法を中心に. 精神科臨床サービス, 1 (2), 265-268.
- 鈴木千里・稲永澄子: アルコール依存症者の回復過程における心の変化について —風景構成法を導入して. 病院・地域精神医学, 44 (2), 219-221.
- 滝川一廣: 風景構成法の解釈 —宮木さんのケースを読む③. 臨床心理学, 1 (5), 653-658.
- 渡嘉敷あゆみ: 異文化適応と風景構成法について (その2) —風景構成法における異文化適応指標の探索. 沖縄心理学研究, 24, 2-7.
- 卯月研次: 教育臨床における生きたアセスメントとは. 日本サイコセラピー学会雑誌, 2 (1), 31-33.
- 山中康裕: 風景構成法の基礎. 臨床心理学, 1 (4), 533-540.
- 山中康裕: 本事例検討のまとめにかえて —風景構成法の治療的利用について. 臨床心理学, 1 (5), 659.
- 山中康裕: 精神分裂病の箱庭療法. 臨床精神医学, 30 (増刊), 144-149.
- 柳沢和彦・岡崎甚幸・高橋ありす: 風景構成法の「枠」に対する「川」の類型化およびそれに基づく空間構成に関する一考察 —幼稚園児から大学生までの作品を通して. 日本建築学会計画系論文集, 546, 297-304.
- ◆2002
- 福田周: 分裂病入院患者に対する塗り絵法の導入 —精神科における心理面接を通して. 臨床心理学, 2 (5), 633-643.

- 伊集院清一：絵画療法 —その精神療法としての治療可能性. 松下正明・吉松和哉 (編)：精神医学 —その基盤と進歩. 朝倉書店. pp. 210-223.
- 角野善宏：病院臨床における風景構成法の実践. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 94-118.
- 皆藤章：風景構成法の実践. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 1-16.
- 皆藤章：臨床としての風景構成法. 京都大学大学院教育学研究科臨床教育学講座紀要 臨床教育人間学, 4, 119-130.
- 皆藤章・川崎克哲：対談コメント —第2章について. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 44-93.
- 皆藤章・川崎克哲：対談コメント —第3章について. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 119-167.
- 皆藤章・川崎克哲：対談コメント —第4章について. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 199-249.
- 皆藤章・川崎克哲：対談コメント —第5章について. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 286-340.
- 加藤貴生：司法臨床における風景構成法の実践. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 250-285.
- 川崎克哲：「幻聴事例」再考. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 341-368.
- 岸本寛史：バウムの幹先端処理と境界脆弱症候群. 心理臨床学研究, 20 (1), 1-11.
- 武藤誠：風景構成法のアイテム選択における二つの指向性. 京都大学大学院教育学研究科紀要, 48, 224-235.
- 大井修太・鈴木壯：運動選手の風景構成法の描画特性に関する基礎的研究 —非運動選手との比較及び心理的競技能力の高・低による比較. 臨床心理身体運動学研究, 3 (1), 49-58.
- 大西貴子・根来秀樹・岸本年史・飯田順三：スクィグル・ゲームと風景構成法を用いたある緘黙児との関わり. 日本サイコセラピー学会雑誌, 3 (1), 15-21.
- 千丈雅徳・佐藤友香・中島公博・坂岡ウメ子・林裕・田中稜一：交代人格が成長して寛解へと至った解離性同一性障害の1例 —各人格のエゴグラムと風景構成法の比較を通して. 精神医学, 44 (10), 1061-1068.
- 志村礼子：風景構成法実践の勘所 —実父による虐待を受けて育った中学生男子の事例から. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 17-43.
- 志村礼子：児童臨床における風景構成法の実践. 皆藤章・川崎克哲 (編)：風景構成法の事例と展開. 誠信書房. pp. 168-198.
- 高石恭子：現代青年の特徴的心性と芸術療法. 日本芸術療法学会誌, 32 (1), 71-72.
- 滝口俊子：書評『風景構成法の事例と展開 —心理臨床の体験知』皆藤章・川崎克哲編. 心理臨床学研究, 20 (3), 302-304.
- 柳沢和彦・岡崎甚幸：風景構成法に基づく広重の風景版画の空間構成に関する研究 —「梓」と川との関係に着目して. 日本建築学会計画系論文集, 559, 179-186.
- ◆2003
- 伊集院清一：絵画療法 —人間のイメージ・表象機能がもつ自己治癒性を導き出す. 精神看護, 6 (3), 29-37.
- 角野善宏：分裂病の心理療法. 横山博 (編)：心理療法 言葉／イメージ／宗教性 —心の危機と臨床の知4. 新曜社. pp. 35-51.
- 木澤亜紀子・森範行：風景構成法の模写による追体験を通じた共感的理解への試み. 北海道教育大学教育実践総合センター紀要, 4, 239-246.
- 三浦麻衣子：風景構成法における人物像の特徴に関する研究. 北海道心理学研究, 26, 23-33.
- 宮木ゆり子：絵画療法 —課題画 (風景構成法) とその事例. 山中康裕 (編)：心理療法プリマーズ —表現療法. ミネルヴァ書房. pp. 29-48.
- 水谷みゆき：高齢者の風景構成法における奥行き表現のもつ意味について (第1報) —「構成型」と認知との関係. 日本芸術療法学会誌, 34 (1), 38-45.
- 内藤直子・山下早苗・城下利香・尾崎八代・立

- 石有紀・田中文代・松田佳子：子育て中の健康な女性が描いた風景構成画の質的研究. 香川母性衛生学会誌, 3 (1), 51-61.
- 佐藤由佳利：発展的風景構成法の試みについて. 北海道教育大学大学院教育学研究科学校臨床心理学専攻研究紀要 学校臨床心理学研究, 1, 81-89.
- 佐藤由佳利・高谷桃子・小田切亮・澤田浩志：高校における心理教育の試み. 北海道教育大学教育実践総合センター紀要, 4, 57-64.
- 杉浦京子・香月菜々子・鋤柄のぞみ：投映描画法テストの動向と展望. 日本芸術療法学会誌, 34 (1), 5-37.
- 山中康裕：「MSSM+C法」の誕生まで. 臨床心理学, 3 (5), 627-630.
- ◆2004
- 赤岩保博：児童養護施設における虐待を受けた子どもとの描画臨床. 臨床描画研究, 19, 64-78.
- 原信夫：エゴグラムとの比較による風景構成法の特徴について. 清和大学短期大学部紀要, 32, 29-38.
- 廣瀬麗：小学生の風景構成法に関する一研究. 東京国際大学 臨床心理学研究, 2, 147-163.
- 石田弓：子どもの「火のある風景描画法」の描画特徴に関する一研究 —「火のイメージ」の検討を中心として. 臨床描画研究, 19, 100-119.
- 角野善宏：描画を通しての治癒像, 治療への効果. 描画療法から見たところの世界 —統合失調症の事例を中心に. 日本評論社. pp. 37-41.
- 角野善宏：風景構成法の応用 —それぞれの症例を通して. 描画療法から見たところの世界 —統合失調症の事例を中心に. 日本評論社. pp. 129-171.
- 角野善宏：風景構成法と分裂病（統合失調症）—風景構成法における分裂病（統合失調症）の特徴と治療への効果. 描画療法から見たところの世界 —統合失調症の事例を中心に. 日本評論社. pp. 45-128.
- 角野善宏：イメージを描く技法. 皆藤章（編）：臨床心理学全書, 第7巻 —臨床心理査定技法 2. 誠信書房. pp. 181-205.
- 角野善宏：心理臨床における「描画」の位置づけ. 描画療法から見たところの世界 —統合失調症の事例を中心に. 日本評論社. pp. 17-35.
- 皆藤章：風景構成法の具体と心理臨床. 皆藤章（編著）：風景構成法のときと語り. 誠信書房. pp. 25-52.
- 皆藤章：風景構成法の〈方法〉に向けて. 皆藤章（編著）：風景構成法のときと語り. 誠信書房. pp. 1-12.
- 皆藤章：事例のなかの風景構成法. 皆藤章（編著）：風景構成法のときと語り. 誠信書房. pp. 164-202.
- 皆藤章：心理臨床において風景構成法がもたらされるとき. 皆藤章（編著）：風景構成法のときと語り. 誠信書房. pp. 13-24.
- 皆藤章・中桐万里子：風景構成法体験の語り. 皆藤章（編著）：風景構成法のときと語り. 誠信書房. pp. 53-91.
- 金谷弘美：風景構成法と人格目録法の関連性に関する研究 —女子青年を対象として. 武庫川女子大学発達臨床心理学研究所紀要, 6, 81-89.
- 川崎克哲：風景構成法. 明治安田こころの健康財団（編）：投映法の見方・考え方. 明治安田心の健康財団. pp. 103-136.
- 増井起代子・上別府圭子：治療的検査 —バウムテスト・HTP・家族画・風景構成法・スクリブルとスキュグル・箱庭療法. 臨床精神医学, 33 (増刊), 405-413.
- 水谷みゆき：高齢者の風景構成法の基礎にある空間と構成要素の生成について —高齢者の風景構成法における奥行き表現の持つ意味について (第2報). 日本芸術療法学会誌, 35 (1-2), 31-42.
- 村松知子：風景構成法がもたらしたもの. 皆藤章（編著）：風景構成法のときと語り. 誠信書房. pp. 92-121.
- 中込四郎：あるアスリートの競技期での心理サポート. アスリートの心理臨床. 道和書院. pp. 126-152.
- 中込四郎：スポーツ競技者の心理療法の場で語られる「身体」の治療的意味. スポーツ精神医学, 1, 16-21.

- 中島登代子：スポーツカウンセリングの専門性。臨床心理学, 4 (3), 353-359.
- 岡部祥平：投映法の紹介と理論的背景。明治安田こころの健康財団 (編)：投映法の見方・考え方。明治安田心の健康財団, pp. 1-30.
- 坂田浩之：あるうつの青年との心理療法のプロセスのなかで風景構成法を用いた事例。皆藤章 (編著)：風景構成法のとくと語り。誠信書房, pp. 122-163.
- 佐々木玲仁：風景構成法におけるアイテムの描画時間。甲南大学学生相談室紀要, 12, 40-50.
- 鈴木壯：風景構成法。臨床スポーツ医学, 21 (増刊), 286-289.
- 吉田明：セラピストはクライアントと“どこで”出会うのか — 風景構成法が面接の指針となった事例を通して。心理臨床学研究, 22 (5), 520-530.
- ◆2005
- 木下恵理香：表現療法が及ぼす心理的効果 — 風景構成法における彩色過程についての一考察。青山心理学研究, 5 (別冊), 165-168.
- 越智栄太：風景構成法と思春期男子の発達に関する一考察 — 自我発達の側面から。東京国際大学 臨床心理学研究, 3, 39-53.
- 椋田容世・古宮昇：バウムテストに見る統合失調症の病理性とその回復過程に関する一考察。大阪経済大学論集, 56 (2), 209-217.
- 佐々木玲仁：風景構成法研究の方法論について。心理臨床学研究, 23 (1), 33-43.
- 佐藤文子：統合失調者の描画における構成と投影 — 風景構成法の山と川についての事例的検討を通して。いわき明星大学人文学部研究紀要, 18, 86-97.
- 高桑洋介：風景構成法とロールシャッハ法との関連 — 「羅列型」を示した3事例の検討から。ロールシャッハ法研究, 9, 38-47.
- 渡部未沙：継続面接における風景構成法の作品変化について — 大学生の複数事例における特徴。心理臨床学研究, 22 (6), 648-658.
- 山崖俊子：風景構成法における「道」と「川」の描かれ方の発達の検討。小児の精神と神経, 45 (2), 183-190.
- 全国家庭裁判所調査官研究協議会大阪支部：心理テスト (風景構成法) を活用した調査事例 — ハキハキさわやか少年の心の内。家裁調査官研究展望, 33, 91-103.
- ◆2006
- 伊集院清一：絵画療法 — その精神病の精神療法としての理論的枠組。臨床精神医学, 35 (増刊), 485-493.
- 石田弓：「火のある風景描画法」を「読む」ためのモデル構成に関する一研究。臨床描画研究, 21, 190-207.
- 伊東佳乃：風景構成法からみた妊産婦の心理的特徴。東京国際大学 臨床心理学研究, 4, 17-35.
- 伊藤美佳・山口勝弘：大学生を対象とする心の健康教育における風景構成法の利用 — 自己像の変容を内省する媒体として。山梨大学教育人間科学部紀要, 8, 233-240.
- 角野善宏：統合失調症の回復過程と風景構成法の関連性。箱庭療法学研究, 19 (2), 19-34.
- 木村永一・伊野裕樹・館農幸恵・小林一利・池田官司・齋藤利和：マレイン酸フルボキサミンの抗うつ効果を描画法で評価した3症例。新薬と臨床, 55 (5), 755-763.
- 草野亮・安藤次郎・竹鼻敏孝：認知症に対する回想法と内観のドッキングに関する研究。医報とやま, 1418, 14-19.
- 中込四郎・小川洋平・武田大輔・小谷克彦・宇土昌志：内界探索に方向づけられたメンタルトレーニングプログラムの検討。スポーツ心理学研究, 33 (2), 19-33.
- 坂本昭裕・渡邊仁・高橋茉生・小田梓：キャンプ療法における不登校児の内的体験の変化 — 内的体験の変化をもたらす援助要因の検討。明治安田こころの健康財団研究助成論文集, 42, 1-12.
- 佐々木玲仁：風景構成法研究の文献展望。京都大学大学院教育学研究科紀要, 52, 187-199.
- 島田稔：ある統合失調症患者との出会いと関わりと私 — 「空白」で「同じ」で「ざらり」と。福岡行動医学雑誌, 13 (1), 32-50.
- 高橋光恵：不登校の女子中学生との交互スクリブルと風景構成法, 箱庭療法の過程 — 分割と“高みの視点”。箱庭療法学研究, 19 (2),

- 49-62.
高橋昇：慢性患者の描画の変化と常同性 — 相互
なぐり描き法と風景構成法を用いて. 心理臨
床学研究, 24 (5), 525-536.
- 氏原寛：書評『風景構成法のとくと語り』皆藤
章編著. 心理臨床学研究, 23 (6), 745-749.
- 鷺岳覚：風景構成法 — 青年期女子の心理社会的
発達課題の検討. 青森明の星短期大学研究紀
要, 32, 51-69.
- 山崖俊子・笠井仁：風景構成法における「道」
と「川」の描かれ方と自我同一性達成との関
係について. 津田塾大学紀要, 38, 169-186.
- ◆2007
藤井光恵：描画を生きる — 身体疾患の心理臨床.
臨床心理学, 7 (2), 202-208.
- 伊集院清一：表現病理学の境界線を求めて. 日
本芸術療法学会誌, 38 (1), 33-42.
- 角野善宏：箱庭療法の限界と効用 — 風景構成法
と夢分析を併用した事例から. 臨床心理学, 7
(6), 758-764.
- 皆藤章：心理臨床の具体 (4) — 風景構成法. 皆
藤章 (編)：よくわかる心理臨床. ミネルヴァ
書房. pp. 132-141.
- 菅藤健一：非行少年の描画上の変化と適応上
の変化との関連について. 心理臨床学研究, 25
(2), 197-205.
- 川寄克哲：箱庭療法の「力動性」について — 風
景構成法, 夢と比較しつつ. 岡田康伸・皆藤
章・田中康裕 (編)：箱庭療法の事例と展開.
創元社. pp. 412-424.
- 近藤陽子・森範行：バウムテストでたどる発達
障害児の不安症状の消失と心理的成長過程.
北海道教育大学教育実践総合センター紀要, 8,
95-100.
- 隈元みちる：風景構成法に表れるアレキシサイ
ミアの特徴. 生徒指導研究, 19, 25-31.
- 南野美穂：ADHDを抱える思春期の少年との面
接過程. 心理臨床学研究, 25 (1), 25-36.
- 宮下貞和：描画テスト入門. 臨床心理学, 7 (2),
174-180.
- 坂田浩之：風景構成法で描けないこと. 大阪樟
蔭女子大学人間科学研究科心理学専攻・附属
カウンセリングセンター研究紀要, 創刊号,
61-66.
- 佐々木玲仁：風景構成法に顕れる描き手の内的
なテーマ — その機序と読み取りについて. 心
理臨床学研究, 25 (4), 431-443.
- 山川百合子・清水京美・黒澤也生子・安部伊知
朗・和田野安良・新井雅信：リハビリテーショ
ンでの心理的援助における風景構成法の適用.
茨城県立病院医学雑誌, 25 (1), 11-19.
- 和田洋子：青年期女子の風景構成法 — 「川」と
「田」の解釈仮説の検討. 武庫川女子大学発達
臨床心理学研究所紀要, 9, 51-56.
- ◆2008
浅田剛正：描画法におけるセラピストの主体的
関与について — 風景構成法を用いた関与の多
様性の検討から. 心理臨床学研究, 26 (4),
444-454.
- 井元健太：風景構成法による自我機能解釈. 東
京国際大学 臨床心理学研究, 6, 35-49.
- 皆藤章：風景構成法. 小川俊樹 (編)：現代のエ
スプリ別冊, 投影法の現在. 至文堂. pp. 152
-163.
- 加藤大樹・原口友和・森田美弥子：芸術療法の
諸技法における体験過程に関する研究 — コラー
ージュ技法・風景構成法・ブロック技法の比較.
日本芸術療法学会誌, 39 (1), 51-59.
- 岸本寛史：絵画療法の新しい可能性 — 「表現」
への着目. 精神療法, 34 (5), 506-511.
- 宮木ゆり子：LMT療法 (風景構成法) の可能性.
精神療法, 34 (5), 544-549.
- 宮澤拓也・粕川雄偉・蔵坊治花・長久保勇輔・
桜庭拓郎：統合失調症慢性期入院患者に対す
るパワーリハビリテーションの可能性 — 精神
的負担に配慮しながら. パワーリハビリテー
ション, 7, 49-52.
- 小野田直子・北村麻紀子・池島静佳・千葉ちよ・
中村留貴子・深津千賀子：ロールシャッハ・
テスト上に現れた精神病水準の思考障害 — 精
神医学的見立てでは境界例水準とされた3事
例. ロールシャッハ法研究, 12, 34-42.
- 清水京美・和田野安良・山川百合子：リハビリ
病院における脊髄損傷患者の障害受容につい
て — 臨床心理の立場から. 日本脊髄障害医学
会雑誌, 21 (1), 66-67.

- 坂本昭裕：長期キャンプを体験した不登校児の風景構成法の検討 — 描画の構成型に着目して. 臨床心理身体運動学研究, 10 (1), 25-40.
- 坂田裕子：風景構成法に描かれた「橋」についての一考察. 武庫川女子大学学生相談センター紀要, 18, 35-45.
- 高山直子：風景構成法を活用した思春期学生のストレス緩和とピア・サポートに関する研究. 論文集「高専教育」, 31, 897-902.
- 武田大輔・中込四郎：大学新入生の運動部活動での適応過程における内的変化. 筑波大学体育科学系紀要, 31, 185-188.
- 矢部辰一郎・山手威人・丸田敏雅・飯森眞喜雄：セネストパチーの1症例. 精神科, 12 (4), 336-341.
- 山田敏久：不登校傾向の小1男子への登校支援 — 遊戯療法と母親, 担任との連携. 千葉大学教育実践研究, 15, 43-50.
- 吉村功：風景構成法. 日本スポーツ心理学会(編)：スポーツ心理学辞典. 大修館書房. p. 576.
- ◆2009
- 浅田剛正：風景構成法が面接にもちこまれるとき. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 66-74.
- 古川裕之：風景構成法における“あうんの呼吸” — 主体との関連で. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 57-95.
- 萩原可奈・佐渡忠洋・鈴木壯：実力発揮と風景構成法の特徴 — 中程度の競技レベルの大学スポーツ競技者を対象として. 岐阜大学教育学部研究報告(人文科学), 58 (1), 187-196.
- 伊集院清一：芸術の視点からみた風景構成法. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 23-31.
- 角野善宏：風景構成法と樹木画法. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 129-142.
- 皆藤章：風景構成法の臨床を巡って. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 5-22.
- 皆藤章・高橋寛子・川崎克哲：ケースカンファレンス. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 182-202.
- 鍛冶まどか：風景構成法における空間の生成過程. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 109-119.
- 川崎克哲：表現の視点からみた風景構成法 — 象形としての風景構成法. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 44-56.
- 岸川加奈子：風景構成法に見る自我発達の現在と過去の5歳児比較. 臨床描画研究, 24, 130-145.
- 草野亮・安藤次郎・竹鼻敏孝：認知症に対する内観的回想法の研究(その1). 医報とやま, 1476, 11-16.
- 松井華子：風景構成法における彩色過程. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 120-128.
- 松井華子：風景構成法の彩色過程研究の可能性について. 京都大学大学院教育学研究科紀要, 55, 215-225.
- 松井華子・千秋佳世・古川裕之・山本有恵：風景構成法における彩色についての研究. 桑原知子(代表)：大学院教育改革支援プログラム(大学院GP) — 臨床の知を創出する質的に高度な人材養成 研究開発コロキウム平成二十年研究成果報告書. pp. 96-105.
- 中井久夫：非言語的アプローチの活かし方. 臨床心理学, 増刊1, 151-157.
- 中野江梨子：風景構成法における枠をめぐる. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 75-86.
- 大谷真弓：創作の視点からみた風景構成法 — 心理臨床における創作. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 57-65.
- 那須秀行：風景構成法における付加物について — 描き手の体験の語りから. 佛教大学大学院紀要(教育学研究科篇), 37, 109-126.
- 大山泰宏：文化の観点からみた風景構成法. 皆藤章(編)：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 32-43.
- 佐々木裕子：投影法バッテリーによる治療効果

のアセスメント —ロールシャッハ法とハンドテストによるテストバッテリー. ロールシャッハ法研究, 13, 1-9.

高橋寛子：ある摂食障害女性の心理療法過程. 皆藤章（編）：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 155-181.

高嶋雄介：風景構成法の生成過程. 皆藤章（編）：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 96-108.

富松良介：被虐待児の風景構成法から. 皆藤章（編）：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床. ぎょうせい. pp. 143-154.

運上司子・橘玲子・長谷川早苗：風景構成法に表現される「石の大きさと位置」—青年期を対象として. 新潟青陵大学大学院臨床心理学研究, 3, 37-43.

渡部純夫：児童養護施設職員の心理的成長過程 (2) —風景構成法からの考察 (1). 東北福祉大学研究紀要, 33, 199-225.

◆2010

土居正人・酒井恵理・服部友紀・出羽章彦・園田順一：選択性緘黙児における介入の般化過程. 吉備国際大学臨床心理相談研究所紀要, 7, 21-26.

加納信吾・堀智子・石井雄吉：精神的健康度との関連からみた風景構成法 —数量化風景構成法とGHQ28とを用いて. 神奈川県精神医学会誌, 59, 11-18.

菅藤健一・上埜高志：非行臨床における処遇経過分析の方法について. 東北大学大学院教育学研究科研究年報, 58 (2), 239-255.

仲原千恵・佐渡忠洋・鈴木壯：風景構成法における用紙のサイズに関する研究. 岐阜大学教育学部研究報告 (人文科学), 59 (1), 211-216.

中野江梨子：PDIの前後における風景構成法体験の変化について —作品の主観的な「感じ」に関するSD法評定の変化とインタビューから. 心理臨床学研究, 28 (2), 207-219.

佐々木玲仁：風景構成法との比較. 臨床心理学, 10 (5), 703-704.

山中康裕：風景画 (風景構成法). 小野けい子・佐藤仁美（編）：心理臨床とイメージ. 財団

法人 放送大学教育振興会. pp. 91-101.

《風景構成法の専門書籍》

山中康裕（編）(1984)：中井久雄著作集別巻1 — H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社.

皆藤章 (1994)：風景構成法 —その基礎と実践. 誠信書房.

山中康裕（編著）(1996)：風景構成法その後の発展. 岩崎学術出版社.

皆藤章・川崎克哲編 (2002)：風景構成法の事例と展開 —心理臨床の体験知. 誠信書房.

角野善宏 (2004)：描画療法から見たこころの世界 —統合失調症の事例を中心に. 日本評論社.

皆藤章（編著）(2004)：風景構成法のとくと語り. 誠信書房.

皆藤章（編）(2009)：現代のエスプリ, 505 — 風景構成法の臨床. ぎょうせい.

《風景構成法を中心に据えた博士論文》

伊集院清一 (1990)：拡大風景構成法における天象・地象表現と精神的視野. 神戸大学博士論文.

波多腰正隆 (1993)：貼り絵による風景構成法についての研究：非行少年, 慢性分裂病者, 健常青少年を比較して. 神戸大学博士論文.

皆藤章 (1994)：風景構成法の基礎と実践. 大阪市立大学博士論文.

柳沢和彦 (2003)：生活空間の構成に関わる空間図式の発達的研究：居住休刊構成法および風景構成法の考察を通して. 京都大学博士論文.

水谷みゆき (2008)：風景構成法の構成に現れる奥行表現とその認知的側面についての研究. 名古屋大学博士論文.

佐々木玲仁 (2009)：風景構成法の機序に関する研究. 京都大学博士論文.

付記

邦文献はほぼ網羅したと考えてはいるが, 事例報告や紀要・報告書等に掲載されている文献で見逃しているものがあると思われる。今後もより完全な形の一覧を目指しているため, 本稿を利用する方からご指摘を下さるようお願いし

たい。

引用文献

- 1) 皆藤章（2009）：風景構成法の臨床を巡って．皆藤章（編）：現代のエスプリ505, 風景構成法の臨床．ぎょうせい, pp. 5-22.
- 2) 中井久夫（1970）：精神分裂病者の精神療法における描画の使用 —とくに技法の開発によって作られた知見について．芸術療法, 2, 77-90. [中井久夫（1984）：中井久夫著作集 精神医学の経験, 1巻 —分裂病. 岩崎学術出版社. pp. 17-45. 所収]
- 3) 山中康裕（編）（1984）：中井久雄著作集別巻1 —H・NAKAI風景構成法 シンポジウム. 岩崎学術出版社.

